

株主のみなさまへ

中間期のご報告

2020年4月1日～2020年9月30日

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

2021年3月期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日、以下、「中間期」)の概要をご報告申しあげます。

なお、中間配当金につきましては、前年同期と同じく1株につき7円と決定させていただきましたので、あわせてご報告申しあげます。

2020年11月

王子ホールディングス株式会社 加来 正年
代表取締役社長



中間期の連結業績ハイライト

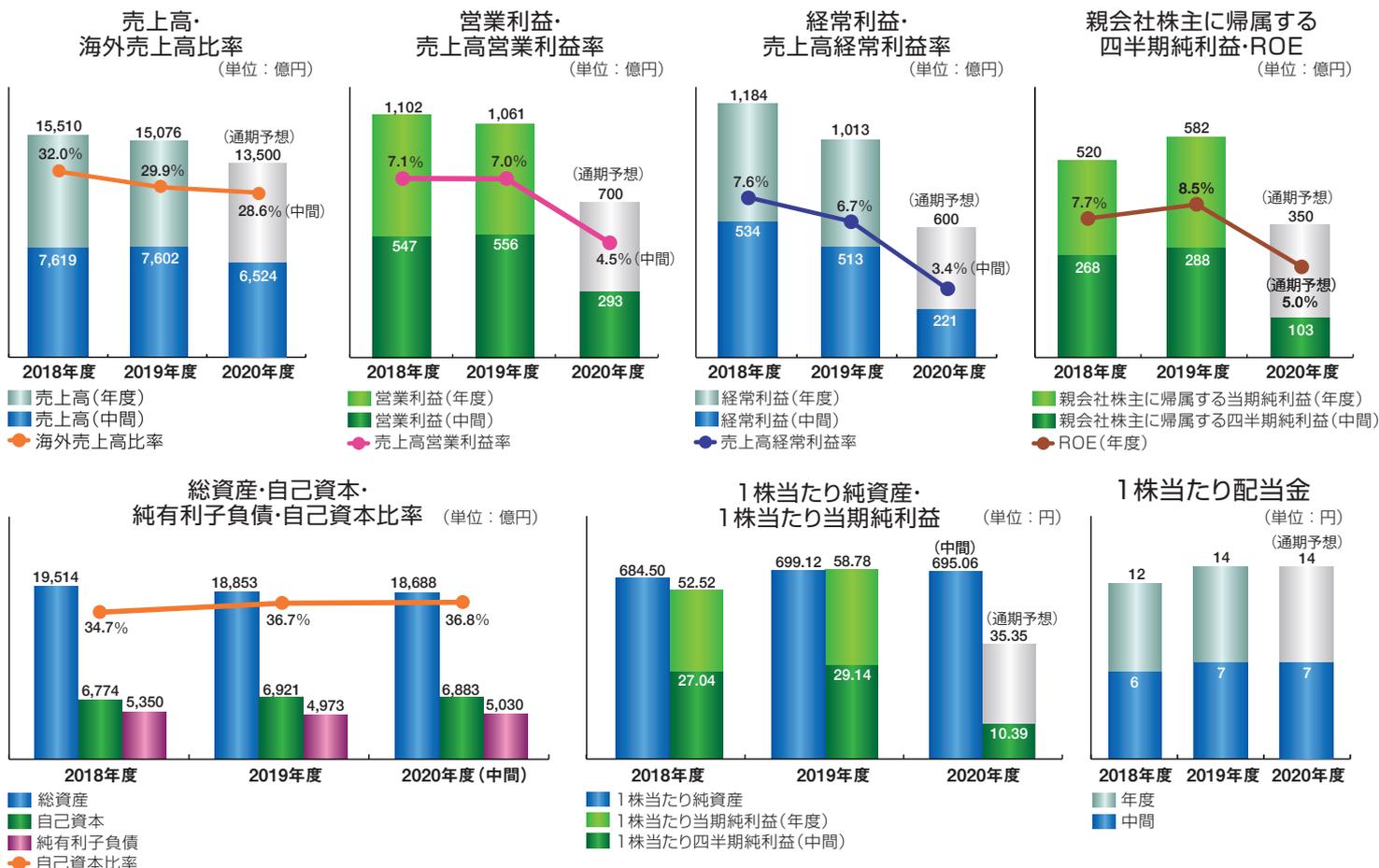
売上高	6,524億円	前年同期比	14.2%減
営業利益	293億円	前年同期比	47.3%減
経常利益	221億円	前年同期比	57.0%減
親会社株主に帰属する四半期純利益	103億円	前年同期比	64.3%減



決算短信をご覧ください。 <https://www.ojiholdings.co.jp/ir/financial/result.html>

連結業績等の推移

(注) 2020年度通期予想は第2四半期決算短信発表(2020年11月5日)時点のものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



中間期のセグメント別の営業の状況

生活産業資材

段ボール原紙・加工、白板紙・紙器、
包装用紙・製袋、家庭紙、紙おむつ

売上高	3,096億円	(前年同期比 9.5%減)	構成比(%)	40.6		
営業利益	130億円	(前年同期比 30.8%減)	構成比(%)	45.9		

国内事業では、段ボール原紙・段ボールの国内販売は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛等により、一部加工食品向けは販売が堅調でしたが、全体では経済活動の制限等による需要減を受け、販売量が前年に対し減少しました。段ボール原紙の輸出版売は、前年に対し増加しました。白板紙の国内販売は、同感染拡大防止のための外出自粛による土産物・贈答関係の需要減等により、販売量が前年に対し減少しました。輸出版売は東南アジア・オセアニア地区におけるロックダウンによる需要減等を受け、販売量が前年に対し減少しました。包装用紙の国内販売は、同感染拡大防止のための外出自粛や経済活動の制限等を背景とした、手提袋や工業製品向け重包装袋等の需要減により、販売量が前年に対し減少しました。輸出版売は前年に対し減少しました。

子供用おむつは、国内販売は減少しましたが、輸出版売が増加したため、販売量は前年に対し増加しました。大人用おむつの販売量は前年に対し減少しました。家庭紙は、同感染拡大に伴う衛生意識の高まり等から、使い捨て拭き取り商品の使用シーンが多様化し、キッチンタオルの販売量が増加しましたが、経済活動停滞の影響等により業務用製品の販売量が減少したため、全体の販売量は前年並みとなりました。ウェットティッシュ、マスク等加工品は同感染拡大に伴う需要の高まりにより販売量、売上高ともに大幅に増加しました。

海外事業では、段ボール原紙は、東南アジアにおいて、同感染拡大に伴う経済活動停滞の影響等により、販売量が前年に対し減少しました。オセアニアでは、ニュージーランド、オーストラリア共に、販売量が前年に対し増加しました。紙おむつは、マレーシアでは、同感染拡大に伴う外出規制の影響等による大手小売店の販売不振により販売量が伸びず前年並みとなったものの、中国ではドラえもんパッケージ品の新規販売、インドネシアではコンビニエンスストアへの販拡継続により、全体の販売量は前年に対し大幅に増加しました。



機能材

特殊紙、感熱紙、粘着、フィルム

売上高	909億円	(前年同期比 15.9%減)	構成比(%)	11.9		
営業利益	51億円	(前年同期比 25.9%減)	構成比(%)	18.2		

国内事業では、特殊紙は、同感染拡大防止のための外出自粛や衛生意識の高まり等の影響により食品・メディカル用途製品の販売は堅調でしたが、訪日観光客の減少や移動制限により乗車券や土産物の需要が大きく減少したこともあり、全体の販売量は前年に対し減少しました。感熱紙は、同感染拡大防止のための外出自粛等の影響によりPOSレジ用途の需要等が減少し、販売量が前年に対し減少しました。

海外事業においても、各地で同感染拡大防止のための外出規制や経済活動停滞の影響等を受け、感熱紙はPOSレジ・チケット用途等で需要が減少し、北米、南米、東南アジアで販売量が前年に対し減少しましたが、欧州では顧客の在庫確保の動き等により、前年に対し増加しました。



資源環境ビジネス

パルプ、エネルギー、
植林・木材加工

売上高	1,193億円	(前年同期比 21.6%減)	構成比(%)	15.7		
営業利益	67億円	(前年同期比 69.6%減)	構成比(%)	23.5		

国内事業では、パルプ事業は、主に溶解パルプの中国向け輸出が、同感染拡大に伴う経済活動停滞の影響等を受け減少したことにより、販売量が前年に対し減少しました。エネルギー事業は、2019年9月に稼働したエム・ピー・エム・王子エコエネルギー株式会社が期間を通して寄与したことにより、売電量が前年に対し増加しました。

海外事業では、パルプ事業は、同感染拡大に伴う経済活動停滞の影響等を受け、中国での需要が減少したことにより、販売量が前年に対して減少しました。



CENIBRA社(ブラジル)



社有林(北海道)

印刷情報メディア

新聞用紙、印刷・出版・情報用紙

売上高	1,141億円	(前年同期比 22.3%減)	構成比(%)	15.0		
営業利益	7億円	(前年同期比 76.3%減)	構成比(%)	2.5		

国内事業では、新聞用紙は、同感染拡大に伴う経済活動停滞の影響等を受け、頁数及び発行部数の減少により、販売量が前年に対し減少しました。印刷用紙は、同感染拡大に伴う経済活動停滞の影響等により、販売量が前年に対し大幅に減少しました。出版用途においては、外出自粛に伴うコミック向け需要の増加等がありましたが、女性誌、旅行誌、スポーツ誌等の頁数及び発行部数の減少が大きく、販売量が前年に対し減少しました。また商業印刷用途においても、集客及びイベント自粛によるカタログ、ポスター、チラシ等の需要減を受け、販売量が前年に対し大幅に減少しました。情報用紙は、テレワークの普及によりオフィスでの需要の減退等により、販売量が前年に対し減少しました。

海外事業では、江蘇王子製紙有限公司において、同感染拡大に伴う経済活動停滞の影響等により、国内外で広告等の商業印刷需要が減退し、販売量が前年に対して減少しました。



その他

不動産、エンジニアリング、
商事、物流 他

売上高	1,281億円	(前年同期比 12.0%減)	構成比(%)			16.8
営業利益	28億円	(前年同期比 43.8%減)	構成比(%)			9.9

(注)セグメント別の売上高および営業利益構成比(%)は、調整額(内部取引に関わる調整額等)を除いて計算しています。

ESG 王子グループ統合報告書2020およびサステナビリティレポート(Web版)を発行



王子グループ
統合報告書 2020
2020年3月版



王子グループ
統合報告書2020

当社グループの事業概況、経営戦略等の財務情報と環境・社会・ガバナンス等の非財務情報をまとめた「王子グループ統合報告書2020」を発行しました。経営理念「革新的価値の創造」、「未来と世界への貢献」、「環境・社会との共生」に基づいた各種の目標・戦略や、グローバル企業としての持続可能な社会の実現へ向けた取り組みをわかりやすく記載しております。

また、本年新設した「サステナビリティレポート(Web版)」では、非財務(ESG)情報に関連する各種詳細データを掲載し、統合報告書との連携を図っております。

それぞれ、当社ホームページからご覧いただけますので、是非ご一読ください。



王子グループ統合報告書2020
https://www.ojiholdings.co.jp/ir/information/group_report.html



サステナビリティレポート(Web版)
<https://ojiholdings.disclosure.site/ja/>

環境 「環境ビジョン2050」ならびに「環境行動目標2030」を制定

当社は、環境に関する長期ビジョンとして「環境ビジョン2050」を、また、その達成に向けて2021年度より取り組みを開始する、2030年までの中期目標「環境行動目標2030」を、それぞれ制定しました。

「環境ビジョン2050」では、森林保全・植林を通じ森林のCO₂吸収固定能力を最大限に活用しながら、製造部門・物流部門の徹底した省エネルギー化や再生可能エネルギー利用量の拡大等に取り組み、2050年のネット・ゼロ・カーボン(温室効果ガス(GHG)排出の実質ゼロ)を目指します。

その過程として、「環境行動目標2030」において、2030年度までのGHG排出量の削減目標(2018年度対比70%以上の削減)を設定しました。

資源有効活用の推進や様々な環境負荷の低減、生物多様性の保全等、当社グループの総力を挙げて取り組んでまいります。



環境ビジョン2050
<https://ojiholdings.disclosure.site/ja/themes/191/>



環境行動目標2030
<https://ojiholdings.disclosure.site/ja/themes/150/>

環境 地球環境に優しい紙素材・紙製品の開発

海洋プラスチックごみ問題を背景として、プラスチックに替わる紙製品のニーズが高まっております。当社では、紙の立体成型技術を用いたパルプモールド製品「PaPi Press」を開発し、サンプル提供を開始しました。



PaPiPress製品展開例
https://www.ojiholdings.co.jp/r_d/theme/papipress.html



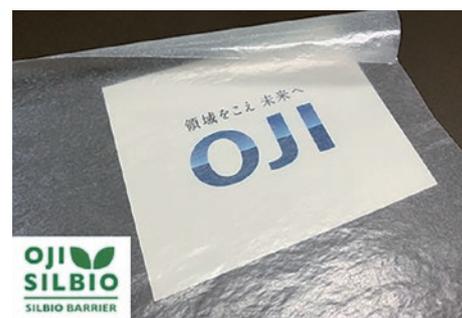
パルプモールド製品「PaPiPress」

また、バリア性を持つ紙素材として開発した「SILBIO BARRIER(シルビオ バリア)」には、新たなラインアップとして、透明プラスチック同様の高い視認性を追求した高透明グレード品が加わりました。

当社は、今後も廃棄プラスチックの削減に貢献すべく、新たな機能性を付与した「地球環境に優しい紙素材」を提案してまいります。



SILBIO BARRIER(シルビオ バリア)高透明グレード品の開発
(2020年8月20日ニュースリリース)



SILBIO BARRIER(シルビオ バリア)
高透明グレード品

トピックス

経営戦略 国内外における段ボール製造拠点の拡充

需要拡大が続く段ボール事業において、製造拠点の拡充を国内外で加速しております。マレーシア南部地区では、3箇所目となる段ボール工場の新設を決定しました。今回の新工場は、東南アジア・インド地域における当社グループ26箇所目の段ボール製造拠点となります。



マレーシア南部地区への段ボール工場新設
(2020年8月4日ニュースリリース)

国内では、森紙業株式会社が千葉県船橋市に建設を進めていた段ボール新工場が完成し、本年7月より生産を開始しました。インターネット通販の成長等で需要が特に旺盛となっている関東地区での段ボール需要を取り込み、新たな製造拠点として一層の競争力強化を図ってまいります。

経営戦略 他社との提携による業務拡大

資本業務提携を結んでいる三菱製紙株式会社との間で進める取り組みの一つとして、プレスボード事業(耐熱プレスボード事業を除く)を王子エフテックス株式会社に統合することを決定しました。生産・販売の集約により、収益性改善や事業効率化を図ります。

一方、紙容器関連事業においては、石塚硝子株式会社との間で合弁契約書を締結しました。世界的な脱プラスチックへの意識の高まりを背景に紙素材を用いた製品が多数開発されている中、経営資源やノウハウの相互活用により事業の基盤を強化し、新製品開発による新たな領域への進出や、海外での事業拡大等を目指します。石塚硝子株式会社が調達しているラミネート原紙は当社グループの製品を採用し、日本国内で原紙から紙パックまでを一貫生産する体制を整えました。今後、紙容器のリサイクルによる理想的な循環型社会の実現に貢献してまいります。



三菱製紙株式会社からの
プレスボード事業の譲受
(2020年8月13日ニュースリリース)



石塚硝子株式会社との
紙容器関連事業における合弁契約書締結
(2020年9月18日ニュースリリース)



マレーシア United Kotak Berhad社の
現在の段ボール製造工場



森紙業 段ボール新工場(千葉県船橋市)



当社製原紙による飲料用パック

経営戦略 木質由来の医薬品開発会社の設立

木質主要成分の一つである「ヘミセルロース」を原料とした有効成分「硫酸化ヘミセルロース」を医薬品として開発、製造販売するため、新会社「王子ファーマ株式会社」を設立しました。硫酸化ヘミセルロースは、大学や製薬企業との共同研究によって血液凝固阻止・抗炎症・保湿等の効果が確認されており、これらの特長を発揮できる疾患領域にターゲットを絞り研究開発を加速いたします。当社グループは、再生可能な木質資源からつくられる医薬品の新たな価値をグローバルに提供してまいります。



王子ファーマ株式会社



王子ファーマ株式会社の設立
(2020年8月3日ニュースリリース)

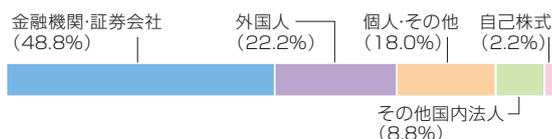
株式の状況

(2020年9月30日現在)

発行済株式の総数 1,014,381,817株

株主数 72,568名

所有者別株式分布状況



株式事務についてのご案内

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
郵便物送付先

(電話照会先)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)



王子ホールディングス株式会社



<https://www.ojiholdings.co.jp/>
証券コード 3861

